

くしまにあ



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

気分弾むシルバー川柳

●百野達夫さん

平成29年の新たな年を迎え1カ月も過ぎた。光陰矢のごとしといわれるが、そのとおりで矢が飛ぶように過ぎ去っていく。

昨年10月の新聞に『シルバー川柳』の記事が載った。物忘れ、ボケ、通院、微妙な夫婦関係。シルバー世代の日常を軽やかに詠んだ公募川柳である。

「そのとおり、そうだそうだ」とつぶやいて笑い、拍手、共感を呼び、何度も読み返しているが、いま一度おさらいしてみたい。
『ボックリと 逝きたいくせに 医者通い』
若いときは逝くなんて頭になかったが、年を取れば取るほど逝きたくないものよ。」

生前の父も言っていた。

『希望なく 目標なくて 自由あり』

『あれよあれ これよそれよと 答え出ず』

『猫までが 妻の真似して 俺またぐ』

『やっと立ち 受話器を取れば 電話切れ』

『ボケも良い 昨日のケンカもう忘れ』

本当にうまく状況をつかんでいる。寄る年波。とかく暗くなりがちなシルバー世代。こんな川柳で気分転換。弾んでほんわかしたい。

同じようなものに、サラリーマン川柳がありますね。これも状況をうまく表現していて、おもわずニヤニヤとしてしまいます。これらに共通しているのは、どちらも弱みを笑いに変えているという点

です。実際には笑っている場合合じやないというパターンも多々あると思いますが、笑うことは健康にも良いと言われますし、それぐらいの余裕を常に持っていたいですね。

病院頑張れ

●モンキーマンさん

市民病院は、市民の健康と命を守るために、懸命に取り組まれていることに驚きを禁じ得ません。

それは公営企業法の全部適用について、主なようであります。今、病院は経営状況もかなり大変なようです。先の議会でも活発な議論があったように聞いています。条例改正の議案が委員会では全会一致で否決されたものが、本会議で逆転可決とのこと。
病院全職員の皆さんの病院改革に対する取り組みと熱意が、賛成された議員の皆さんの心に届いての採決だったと思っております。
新年度からは、病院事業管理者を先頭に、企業理念や病院経営計画を確実に実行して

検証を徹底されることを期待します。院長先生以下全員参加で事に当たられることが、必ずや良い結果を導いてくれると思います。大変でしょうが、今まで以上に頑張ってください。



市民病院よりご回答いたします。

市民病院は、4月から地方公営企業法の全部適用になりますが、串間市営の公立病院であることは今までと変わりありません。新しい事業管理者的なもので、今年3月に策定した「串間市民病院改革プラン」に基づいた経営の健全化に取り組んでまいります。そしてなにより、市民の皆さまに必要とされ、愛される病院を目指してまいります。今後とも職員一同、強い決意のもとにサービス向上に努めてまいりますので、ご支援をお願いいたします。

広報コラム



最後の卒業生を送り出し、たくさんの思い出が詰まった学び舎もついに幕を下ろすときがやってきた。各中学校で行われた閉校式には多くの方が出席され、いつまでも心に残る素晴らしい式典になったように思う。

4月から6中学校はなくなる。閉校の不安を跳ね返してくれるような新しい光を差し込むためには、校舎の活用をどうするかということも大きな課題だ。それは地域住民も重々承知のことなのだろうが、これまで休校や廃校となった小学校をうまく活用しているのは、崎田小学校以外に思い浮かばないのも事実。10年、20年後を考えたとき、これからの2、3年がその地域の将来を大きく左右するのは間違いのない。何かうまい活用方法はないものか。(担)

みんなの広場



本城小学校が平成28年度体力づくり優良校に選ばれました

県では、体力向上に実績を上げている学校を「体力づくり優良校」として表彰しており、県内220校の小学校の中から本城小学校が表彰を受けました。
本城小学校では、持久走月間やなわとび月間を設定し、全校で持久走やなわとびを強化したり、5月に実施した体力テストの結果から課題が見られた項目を、11月に再度実施するなどの取り組みを実施しています。



串間市管工事組合が防災グッズを市へ贈呈

串間市管工事組合は、昨年発生した熊本地震災害の復旧支援として、熊本県益城町に約1カ月間、作業員のべ179名の派遣を行いました。
その派遣において市から支援をいただいたことから、その一部を市民の生活に活用していただこうと、非常用飲料袋6ℓを1000枚、災害用認識ベスト20枚が同組合から市へ寄贈されました。
増田理事長は「現地に行った経験に基づき、必要だと感じたものを寄贈させていただきました。水が必要な状況になったら、どんどん活用してほしいです」と話していました。



グリーンカーテンの苗を配布します

夏の陽射しを遮って冷房を抑えることで、温暖化防止に貢献できるグリーンカーテンの苗(ゴーヤ・ヘチマ)を、今年も一緒に取り組んでくださる方に提供します。合計100本で数に制限(1件10本以内)があります。ご協力いただける方は、早めにお申し込みください。
※苗の生育状況などにより、変更が生じる場合がありますので、必ず電話でご確認ください。
●配布時期=4月15日(土)午後1時半~2時
●場所=串間市役所玄関前
●問い合わせ先=環の会河野さん ☎090-1199-5496



小学校の新生に防犯ブザーを贈呈

3月24日、串間地区生コン事業協同組合の村中弘行理事長ら4名が教育長室を訪れ、教育長へ防犯ブザー150個を贈呈しました。贈呈された防犯ブザーは、市内小学校の新生に配布されます。
同組合は毎年、防犯ブザーを新生へ贈呈する取り組みを行っています。

お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができません。あらかじめご了承ください)。

- ①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③コメントを必ず添えてください。

●Eメールアドレス info@city.kushima.lg.jp



●伝言メッセージ例

じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

お便りお待ちしております。